

健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

すぎと健康アカデミー関連事業

事業概要

第5次杉戸町総合振興計画基本施策の柱の一つ「自分の健康は自分で守る」に基づき、すべての町民が健康で元気に暮らせるよう、健康づくり事業を総括的に展開していくことを目的とした「すぎと健康マイスター養成事業」および「すぎと健康アカデミー事業」を実施している。

これは、町が主催する健康づくり事業に積極的に参加した方を讃え、すぎと健康マイスターとして任命することで、自らの健康行動を振り返りながら健康づくりに取り組む町民を応援している。マイスター認定後には、すぎと健康アカデミーへとつなげ、地域の健康づくりの担い手を養成し、住民主催による健康づくりへと展開することで住民主体の健康な町づくりの推進を計画している。

事業内容(参加者数・予算等)

● 参加者数・予算

マイスター事業 592人 / 32.3万円 (27年度予算)

アカデミー事業 62人 / 12.5万 (同上)

● 内容

マイスター事業:健康づくりに楽しく取り組む目標として、チャレンジに応じたインセンティブを用意し、健康づくりに無関心な層を巻き込むとともに、登録者のモチベーションをかき立てることを狙っている。

アカデミー事業:健康意識の高い町民の拡大を図り、「健康長寿のまちづくり」に行政とともに取り組み、地域への健康情報の発信源となる人材を育成することを目的とする。

事業効果

●健康づくりへの意識の変化:健康無関心層の事業への取り組み。「健康」だけでなく「自分の住むまち」への興味関心を高め、積極的に健康なまちづくりにかかわることへの意識改革をもたらすことができた。

●住民自主活動の広がり:アカデミー卒業生による体操グループの立ち上げや事業サポーターとしての活動など住民自主活動の広がりをみせている。

●参加者相互の健康意識の触発:グループワークを多く取り入れることで参加者同士でがん検診の受診勧奨を行うことができたり、運動習慣の継続のためには人とのつながりも欠かせないものであることを参加者同士で導き出し、自主グループの立ち上げにつながるものとなった。

その他

● 既存の健康づくり政策のイノベーションを目的としたコンサルティング支援を活用し、従来の健康部門だけの狭義な健康政策にとどまらず町全体での総括的な政策としての展開と、かつ、長期的な施策運営が行えるよう健康増進行動計画の作成を目指している。